

ごあいさつ

|       |                                                                                                   |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メタデータ | 言語: jpn<br>出版者:<br>公開日: 2014-04-18<br>キーワード (Ja):<br>キーワード (En):<br>作成者: 村山, 功<br>メールアドレス:<br>所属: |
| URL   | <a href="https://doi.org/10.14945/00007712">https://doi.org/10.14945/00007712</a>                 |

2014 年 3 月 吉日

## ごあいさつ

この度、静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻（教職大学院）の第 4 期修了生による成果報告の抄録集を発行することになりました。

本抄録集は、静岡県教育委員会から派遣された現職大学院生 15 名と、大学卒業後に本専攻に入学した学卒大学院生 4 名の合計 19 名の修了生が、2 年間にわたって追究してきた実践的研究の取組の経過及び成果の概要をまとめたものです。なお、この抄録数の発行に先立って、本年 3 月 1 日（土）に公開の成果報告会を開催し、総勢 116 名の参加を得て成功裡に終了したことを申し添えておきます。

この抄録集をぜひご覧いただき、教職大学院修了生各自がこの 2 年間何をどのように学び、どのような課題に取り組み、どのように実践的指導力を身に付けようとしたのか、それぞれの学修プロセスをご理解いただけましたら幸いです。また、修了生による取組の成果が、学校教育現場の課題解決や組織マネジメント、授業や生徒指導等の教育活動のいっそうの改善につながることを切に願っております。

本教職大学院に在籍した大学院生が、新しい学校づくりを進める新任教員として、あるいはスクーラーリーダーにふさわしい力量を備えた中核的中堅教員として、各自が本教職大学院における 2 年間の学修成果を学校や地域に積極的に還元し、学校教育現場でさらなる飛躍を遂げることを期待しております。また、本専攻修了後の着任校あるいは採用校における教育実践の質的向上に関して、送り出したわれわれ教職大学院スタッフ一同が引き続きサポートしようと考えているところです。これを機に、本教職大学院が静岡大学教育学部・大学院教育学研究科と学校教育現場や教育委員会との間によりいっそう緊密な協働関係を構築する架け橋となることを願っております。

静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻

（教職大学院）

専攻長 村山 功